

- 問1 新潟市の中心部を描いた地図において、市役所や新潟駅などの主要施設の間を通り、河口付近に重要文化財である萬代橋が架けられている、日本で最も長い河川の名称を選びなさい。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
1. 天竜川 2. 最上川 3. 信濃川 4. 阿賀野川
-
- 問2 東海地方、特に渥美半島周辺で「電照菊」などの施設園芸農業が発達した理由と、その営農上の特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2019年 鳥取県公立入試 類似)
1. 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、温室などの設備を用いて出荷時期を調整しながら、大消費地へ向けて生産している。
2. 広大で平坦な土地を確保しやすいため、大型機械を導入して、小麦や大豆などを大規模に生産する土地利用型農業を行っている。
3. 夏の冷涼な気候を活かして、他の地域で収穫できない時期に野菜を出荷する抑制栽培を行い、輸送園芸を成立させている。
4. 季節風を遮る高い山々に囲まれた盆地の気候を活かし、扇状地を利用してブドウやモモなどの果樹栽培を専門に行っている。
-
- 問3 日本の気候区分において、日本海側の気候に見られる冬の様子と、それが人々の生活に与えた影響について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
1. 南東の季節風が山脈を越えて乾いた風として吹き込むため、冬でも乾燥した晴天が続き、屋外での作業が効率的に進められた。
2. 対馬海流の影響で冬でも非常に温暖であり、雪が降らないため、二毛作による農業が盛んに行われた。
3. 日本海を渡る北西の季節風の影響で積雪が多く、冬の農作業が制限されるため、古くから冬の間の労働力を生かした産業が発達した。
4. シベリア高気圧からの風が山脈に遮られてフェーン現象を引き起こすため、冬でも気温が高く、農作物の成長が早まった。
-
- 問4 日本の冬の気候において、日本海側の地域で大雪が降るメカニズムを説明した文として、最も適切なものはどれですか。大陸から吹く風の性質と、地形の影響に着目して答えなさい。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 太平洋からの湿った季節風が、日本海を渡る際に冷却され、海岸沿いの平野部で急激に結露することで雪を降らせる。
2. リマン海流によって冷やされた大陸からの季節風が、日本海の水分を吸収せずにそのまま本州の山地にぶつかり、冷気だけを停滞させて雪を降らせる。
3. ユーラシア大陸からの冷たく乾いた季節風が、対馬海流の流れる日本海を渡る際に大量の水蒸気を取り込み、本州の山地にぶつかって上昇することで雪を降らせる。
4. 大陸からの乾燥した季節風が、日本海側で発生した上昇気流によって暖められ、水分を失いながら山地を越える際に雪を降らせる。
-
- 問5 長野県の野辺山原など、標高の高い地域で行われている農業について説明した文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 温暖な気候やビニールハウスなどの施設を利用して、他の地域よりも収穫時期を早めて出荷する農業。
2. 標高が高く夏でも涼しい気候を利用して、レタスなどの高原野菜を栽培し、平地の出荷が減る時期に市場へ送る農業。
3. 同じ耕地で、一年のうちに米と麦など、二種類の異なる作物を時期をずらして栽培する農業。
4. 大消費地である都市の近くで、輸送コストを抑えながら新鮮な野菜や花を栽培し、出荷する農業。
-
- 問6 2020年の統計において、ある農作物の国内生産量（主原料）の内訳を見ると、静岡県が36.1%で第1位、鹿児島県が34.2%で第2位となっており、この2県で全国の約7割を占めています。静岡県内では東名高速道路沿いの台地などで大規模な農園が見られる、この農産物を選びなさい。 (2022年 奈良県公立入試 類似)
1. みかん 2. レタス 3. 茶 4. キャベツ
-
- 問7 北陸地方などの豪雪地帯で見られる、冬の積雪時にも歩行者の通行空間を確保するために、家の庇（ひさし）を道路側に張り出させて造られた通路の構造を何と呼びますか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
1. 合掌造り 2. 高床倉庫 3. 雁木 4. 水屋
-
- 問8 東海道新幹線が結ぶ「東名阪（東京・名古屋・大阪）」の三大都市圏において、静岡県と岐阜県に挟まれた地域に位置し、中部地方の経済や交通の要所となっている都道府県を選択してください。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 滋賀県 2. 岐阜県 3. 愛知県 4. 静岡県
-
- 問9 日本の気候区分において、日本海側の地域に位置する新潟市などは、一月や十二月といった冬季の月降水量が二百ミリメートルを超えることがあり、太平洋側の都市と比較して非常に多いという特色があります。このような気候が形成される背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 一年を通じて暖流の影響を強く受け、冬でも日本海上で低気圧が発達しやすいため
2. 夏に南東から吹く湿った季節風が、高い山々を越えて日本海側に吹き降りるため
3. 冬に北西から吹く湿った季節風が、日本の中心部にある山脈にぶつかって上昇するため
4. 冬に太平洋側から吹く乾燥した季節風が、日本海を渡る際に上昇気流を発生させるため
-
- 問10 日本の主な工業地帯・地域の中で、全国で最も多い製造品出荷額を誇る工業地帯があります。統計資料によると、この工業地帯の製造品出荷額の約67パーセントを機械工業が占め、特に中心となる愛知県では、出荷額の約55パーセントを自動車などの輸送用機械が占めています。この工業地帯の名称として正しいものを選択肢から選びなさい。 (2016年 滋賀県公立入試 類似)
1. 中京工業地帯 2. 京浜工業地帯 3. 阪神工業地帯 4. 北九州工業地帯
-
- 問11 日本の都道府県別の工業統計において、製造品出荷額が全国で最も多く、その内訳として「輸送用機械」が53.5パーセントと、全体の過半数を占めている県はどこですか。 (2019年 鳥取県公立入試 類似)
1. 静岡県 2. 愛知県 3. 千葉県 4. 北海道
-
- 問12 中部地方の農業について述べた次の文を読み、空欄にあてはまる最も適切な用語を答えなさい。「中部地方の各県では、地形や気候の特色を活かした農業が行われています。農業産出額の統計を見ると、新潟県では稲作が盛んなため『米』が、山梨県では盆地の傾斜地などを利用するため『果実』が、長野県や愛知県では『野菜』がそれぞれ大きな割合を占めています。このように、各地域が特定の農産物を重点的に生産する体制を整えることを（ ）といいます。」 (2017年 奈良県公立入試 類似)
1. 産地形成 2. 工芸作物の栽培 3. 近郊農業 4. 畜産経営
-
- 問13 東京駅を出発し、群馬県の高崎駅や長野県の軽井沢駅などを経由して、石川県の金沢駅までを結ぶ北陸新幹線が通過する県として適切なものはどれですか。 (2022年 鳥根県公立入試 類似)
1. 山梨県 2. 新潟県 3. 岐阜県 4. 福島県

答え合わせ・解説

問1	答え 3 信濃川	新潟市の中心市街地を貫くように流れるこの河川は、古くから水運や農業に利用されてきました。河口付近に位置する萬代橋は新潟市のシンボルの一つです。同じ新潟県を流れる阿賀野川と混同されやすいですが、日本最長の河川という特徴から判断することができます。
問2	答え 1 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、温室などの設備を用いて出荷時期を調整しながら、大消費地へ向けて生産している。	東海地方の太平洋沿岸は、黒潮の影響により冬でも温暖な気候に恵まれています。この気候的条件に加えて、温室やビニールハウスなどの施設を導入することで、植物の成長を早めたり開花時期をコントロールしたりすることが可能になります。こうして生産された農産物は、中京圏や首都圏といった人口の多い大都市（大消費地）へ向けて出荷されます。盆地での果樹栽培は山梨県、冷涼な気候を利用した抑制栽培は長野県などの高地、大規模な畑作は北海道に多く見られる特徴です。
問3	答え 3 日本海を渡る北西の季節風の影響で積雪が多く、冬の農作業が制限されるため、古くから冬の間の労働力を生かした産業が発達した。	冬の日本海側では、日本海を渡る際に水分を蓄えた冷たい季節風が山脈にあたって大量の雪を降らせます。この積雪により冬場の農業が制限されるという厳しい環境条件が、結果として室内で行う伝統的な工芸品や織物といった産業を育む要因となりました。「農作業ができない期間」を「別の仕事にあてる期間」として活用した、地域独自の工夫が見られます。
問4	答え 3 ユーラシア大陸からの冷たく乾いた季節風が、対馬海流の流れる日本海を渡る際に大量の水蒸気を取り込み、本州の山地にぶつかって上昇することで雪を降らせる。	冬になると、ユーラシア大陸上のシベリア高気圧から北西の季節風が吹き出します。この風はもともと冷たく乾燥していますが、暖流である対馬海流が流れる日本海の上を通過する際に、海面から大量の水蒸気を補給されて湿った空気へと変化します。この湿った季節風が本州の中央部を走る山地にぶつかって上昇し、雲が発達することで、日本海側の地域に大量の雪をもたらします。山地を越えた後の空気は乾燥するため、太平洋側では晴天の日が多くなるのが日本の冬の特徴です。
問5	答え 2 標高が高く夏でも涼しい気候を利用して、レタスなどの高原野菜を栽培し、平地の出荷が減る時期に市場へ送る農業。	長野県の野辺山原は標高が1000mを超える高冷地であり、夏でも平均気温がレタスの生育に適した15度から20度程度に保たれます。この涼しい気候を活かして、平地では暑すぎて栽培が難しい夏から秋にかけて野菜を収穫し、出荷時期を遅らせる「抑制栽培」が行われています。これにより、都市部での供給が不足する時期に高い価格で販売することが可能になります。
問6	答え 3 茶	静岡県は気候が温暖で、排水の良い牧之原などの台地が広がっていることから、古くからこの農作物の栽培が盛んです。統計上では静岡県が1位、鹿児島県が2位となっており、この2県が日本の主要な産地として知られています。選択肢にある「みかん」も静岡県の特産物ですが、統計の割合や栽培景観の特徴から判断すると、茶が最も適切です。
問7	答え 3 雁木	冬に雪が多く降る豪雪地帯では、私有地の一部を提供して庇を伸ばし、雪に埋もれずに通行できる空間が作られてきました。この通路は雁木と呼ばれます。
問8	答え 3 愛知県	東海道新幹線は日本の主要都市を最短距離で結ぶよう設計されています。静岡県から西に向かう際、鈴鹿山脈などを避けて関ヶ原方面（岐阜県）へ抜ける前に、広大な濃尾平野を有する愛知県を通過します。この地理的条件により、愛知県は東日本と西日本を結ぶ交通の結節点として重要な役割を担っています。
問9	答え 3 冬に北西から吹く湿った季節風が、日本の中心部にある山脈にぶつかって上昇するため	冬になると、ユーラシア大陸から日本海に向かって冷たく湿った北西の季節風が吹きます。この風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、日本の背骨にあたる高い山脈にぶつかって上昇することで、日本海側に大量の雪や雨をもたらします。一方、山を越えた後の風は乾燥するため、太平洋側では晴天の日が多くなります。
問10	答え 1 中京工業地帯	日本の工業において、1940年時点では全国の製造品出荷額シェアの8.5パーセントでしたが、2000年には14.1パーセントへと成長し、現在では日本最大の出荷額を誇る規模となっています。愛知県の豊田市などを中心に自動車工業が極めて盛んであり、輸送用機械を主軸とした機械工業に特化している点が大きな特色です。
問11	答え 2 愛知県	中京工業地帯の中心であるこの県は、豊田市などを中心に自動車工業が極めて盛んです。製造品出荷額は1977年以来、連続して日本一を維持しており、産業構造としても自動車などの輸送用機械への依存度が非常に高いことが特徴です。
問12	答え 1 産地形成	各地域の気候や地形、土壌などの自然条件や、大消費地からの距離といった社会的な条件に合わせて、特定の農産物を重点的に生産する仕組みのことです。これにより、生産の効率化やブランド化が図られます。選択肢にある工芸作物（茶や綿花など）や畜産（家畜の飼育）も農業の一部ですが、この現象全体を指す言葉としては不適切です。
問13	答え 2 新潟県	北陸新幹線は、東京から群馬県、長野県を経由した後、新潟県（上越妙高駅など）、富山県を通過して石川県の金沢駅（2022年当時）へと至る路線です。福島県は東北新幹線の沿線であり、山梨県は中央本線の沿線であるため、北陸新幹線のルートには含まれません。